

# 社会貢献活動

カシオ独自のノウハウや経営資源などを活かし、良き企業市民として、広く社会に対する責任を果たしていきます。

## 社会貢献活動の考え方

カシオは、健全で心豊かな社会づくりを目指し、社会とのコミュニケーションを通じて、良き企業市民としてカシオに何が出来るかを見極めながら、積極的に社会貢献活動を行っています。重点分野としては、以下の5分野を設定し、カシオ独自のノウハウや経営資源、並びに従業員個人が保有するさまざまな知識や経験を有効に活かして、カシオらしい活動を展開していきます。



## カシオ科学振興財団の活動

### 財団について

カシオ科学振興財団は1982年に、故・榎尾茂前会長と榎尾4兄弟によって設立されました。

わが国が技術先進国として世界に貢献するという使命を果たすには、高度な研究開発がさまざまな分野で進められるべきであるとの理念のもと、特に限られた研究費で困難な研究を続けている若手研究者による、萌芽的な段階にある先駆的かつ独創的研究を主眼として研究助成活動を展開しています。助成対象分野も電子工学・機械工学から健康関連・省エネ関連の自然科学、また人材育成・人間行動の人文科学まで幅広い分野に対応しています。

26年間の研究助成の累計は約12億2,900万円(972件)に達しています。



第26回(平成20年度)贈呈式

詳しくは下記をご覧ください。  
「カシオ科学振興財団」

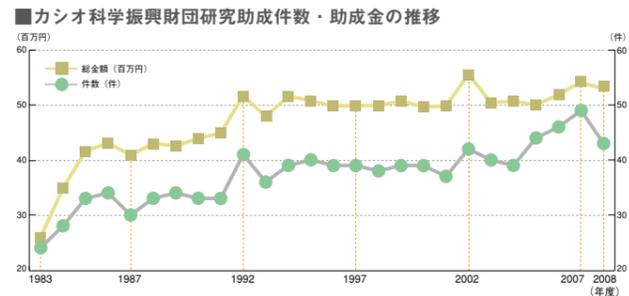
URL <http://www.casio.co.jp/company/zaidan/>

## 2008年度の助成内容

2008年度は、5分野21分類の基本テーマに加え、近年の社会情勢から見て重要と思われる3つの特別テーマ(「小型化・低消費電力化」「健康維持・増進のための電子装置」「IT社会における人間の知的進歩」)を設定しました。

118大学に研究テーマの推薦を依頼した結果、69大学から185件という過去最多の応募が寄せられましたが、特に健康関連の研究テーマが多く時代の要求が垣間見られました。

厳正な選考審査の結果、自然科学部門4,600万円(38件)・人文科学部門700万円(5件)の助成を実施しました。助成対象者の約半数が30代であり、12月に行われた贈呈式には次世代を担う若き研究者が多数参加しました。



### 事務局の声

近年、研究助成に対するニーズは急速に拡大しており、2008年度は予定枠の4倍を超す多数の応募がありました。こうしたニーズに的確にこたえていくとともに、選考審査体制を充実させることにより、公平・公正な研究助成を推進します。また今後とも時代の要請に合致した特別テーマの設定にも注力していきます。



カシオ科学振興財団  
事務局長 清水 知洋

### 助成研究者の声

#### 研究テーマ「身体知伝承の情報技術による支援可能性の研究」

技術のもつ潜在的な可能性を引き出すには自然科学や工学だけでなく、技術が社会の中でどのように認識され、どのように使われていくのかを解明する社会科学的な見地が欠かせません。そのためには時流に流されず、地道にフィールドワークを重ねて継続的に知見を蓄積していく必要があり、このような分野に支援をいただいたことに深く感謝いたします。



横浜国立大学 大学院  
環境情報研究院 教授  
竹田 陽子 様

## 次世代育成活動

カシオ計算機は2007年8月より、小学生を対象としたオリジナルの教育プログラムを開発し、出前授業および事業所での受け入れ教育を実施しています。

このプログラムは、「絆」、「創造」、「心の成長」をキーワードとした3つの学びと、環境、貧困、人権の3つの社会事象に対して気づきをもっていただくことを目的としています。「絆」は、家族や先生、そして友達とのつながりの中での思いやりを、「創造」は人間がもっている物事を創造する無限の力を、「心の成長」は自然と生命の大切さを感じ取り、生かされていることへの気づきを、それぞれ提供する内容です。併せて、世界で起きている環境問題、貧困、そして人権の3つの現実のテーマとの関連の中で、多くの気づきをもっていただくような構成としています。

また、受け入れ教育では、カシオグループの中でも最先端の環境配慮型事業所である八王子技術センターの施設見学を通じて、企業における省エネ活動や、ゴミの分別などの身近な環境活動に触れることにより、地球環境保護への意識と気づきを持っていただくことも目的としています。

2008年度は合わせて759名の生徒さんたちに学習の機会を提供しました。これからも多くの方からのご理解とご支援をいただきながら、このプログラムを通じて、広く社会に貢献していきます。



出前授業



受け入れ教育での施設見学

## 「1万人の工場見学」

甲府カシオは2004年より、工場見学を通じて子供たちに『家族の絆』『科学の力』『夢の実現』の3つを【生きる力】に結びつけるための気づきを持っていただくことを目的とした教育プログラム「1万人の工場見学」を実施しています。お父さん、お母さんが働く姿を目にすることで、家族の絆に気づき、また、社会全体が繋がりをもち支え合っていることを学び、普段見ることのない最先端のモノづくりに触れ、実際に製品の組み立て体験をすることで製品の構造と機能を理解し、科学の素晴らしさに目覚める。そして、従業員の熱き語らいを通じて、諦めないで一生懸命努力することにより、必ず夢が実現できることに気づく。甲府カシオは、こうした気づきの機会を提供することで、将来の社会を担う人材の育成に寄与したいと考えています。

2008年度は10校を受け入れ、教職員を含めて303名の見学者をお迎えしました。開始時からの総見学者数は、1,225名となります。



電車組立授業

### 担当者の声

#### —G-SHOCKの生みの親による講演の実施—

昨夏、日本経済新聞社主催の「高校生のための社会スタディ」にカシオ計算機が協賛企業として参加し、「常識を打ち破れ!“決して諦めない”〜G-SHOCK開発ストーリー〜」と題して講演を行いました。その際に参加された先生方より、自校の生徒にも聞かせたいという要望を受け、出前講演を行いました。

「達成感は素晴らしいもの」「一生懸命の大切さ」「決して諦めない」という私の仕事を通して伝えたい内容が、生徒の心に響くかどうか、とても心配でしたが、実際は目を輝かせて聴き入ってくれました。その反応から、逆に私の方が大きな力をいただきました。多くの生徒から「目標をもって頑張りたい」という感想をいただき、嬉しく感じています。学生とのかかわりはほんの一瞬でしたが、この講演が未来への投資になれば幸いです。



時計事業部  
伊部 菊雄

中国で日本語論文コンテストに協賛

カシオ上海は、中国日本語教育学会、中国国家教育部高等教育指導委員会、および北京日本学術センターが主催する、中国における初の日本学術大学院生による学位論文コンテストに協賛しました。

近年中国では日本語学習者が増加しており、日本語教員の早期育成が急務とされています。電子辞書メーカーであるカシオグループとしては、これを積極的に支援すべく、同コンテストの名称を「カシオ杯」として第1回を開催しました。

表彰式は2008年10月25日、北京外国語大学・北京日本学術センターで執り行い、29の大学院から寄せられた論文の中から33件が優秀論文に選ばれました。今後は、毎年開催を予定しており、中国での教育分野へのさらなる貢献に努めていきます。



受賞式典

環境省エコインターンシッププログラムに参加

カシオ計算機は、環境省の「エコインターンシッププログラム」に初めて参加し、2008年9月1日～12日の2週間、2名の学生が研修を行いました。「エコインターンシッププログラム」は、大学生・大学院生に、企業における環境管理に関わる業務を体験してもらうことで、次世代に向けた環境意識の高い人材を育成することを目的とした制度です。企業の環境対策への理解を深めるとともに、環境問題について社会人として仕事の中で実践できることや、環境問題を解決していくための社会の在り方などについて考える機会を提供します。

研修期間中、カシオ計算機の環境部門において拠点別の環境負荷データの収集・分析や、製品のライフサイクルアセスメント評価を行ったほか、東京都の「地球温暖化対策計画書制度」2006年度中間報告において、最高ランクのAAA評価を受けたカシオ計算機八王子技術センターとカシオマイクロニクス青梅事業所における環境対策を見学するなど、様々な体験をしていただきました。



研修風景

活動報告は下記URLでご覧になれます。「エコインターンシップトップページ」(ホーム>活動報告>エコインターンシップ報告2008>カシオ計算機株式会社)

URL <http://www.env.go.jp/chemi/kagaku/ecointernship/index.html>

カシオアメリカ キッズ洞爺湖サミットに協賛

2008年7月の北海道洞爺湖サミット開催に先立ち、6月16日・19日の2日間、キッズ洞爺湖サミット(主催:国際芸術技術協力機構)が開催されました。これにカシオアメリカが協賛し、ニューヨーク会場として同社のテレビ会議室を開放しました。キッズ洞爺湖サミットは、Kids' ISO 14000プログラム\*に参加している各国の子供たちに、テレビ会議を通じて地球環境問題について議論する場を設け、世界に向けた提言を行うべく企画されたものです。カシオアメリカは米国でのKids' ISO 14000プログラムの活動を支援するため、2007年より協賛しています。

会議には日本、米国、クウェートの子供たちが参加し、自らの環境保全活動や今後の活動提案、サミットに向けたアピールなどについて話し合われました。会議の内容は提言にまとめられ、サミット参加国をはじめとする各国首脳に届けられました。



カシオアメリカ内の会議室にて

\*国際芸術技術協力機構(ArTech)が開発した、環境を題材にして子供たち一人ひとりに「問題解決力、すなわち生きていく力」をつけ、未来に希望と革新をもって育っていく教育を目指した環境教育プログラム。

災害被災者への支援

カシオでは自然災害などにより甚大な被災が発生した場合、被災者の方々の救済と被災地の1日も早い復興に支援を行っています。

■2008年度の取り組み

- ・中国四川省大地震被災に義援金約1,110万円を寄付(5月)
- ・ミャンマーサイクロン「ナルギス」被災に義援金300万円を寄付(5月)
- ・岩手・宮城内陸地震被災に義援金200万円を寄付(7月)

「関東経済産業局長賞」を受賞

カシオ計算機の八王子技術センターは、省エネビルとして設計・建築されたハード面のみに頼ることなく、過剰照明の見直しや空調設備の運転改善などのソフト面から、さらなる省エネに結び付け改善の取り組みを進めています。こうした取り組みが評価され、2009年2月、経済産業省主催の「平成20年度エネルギー管理優良工場等表彰」において、関東経済産業局長賞を受賞しました。



表彰式

2008年度 その他の主な社会貢献活動、寄付活動一覧

社会貢献活動

分類	件名	内容実施	実施主体
教育	スーパーサイエンスハイスクールにて「ClassPad」の実験的授業を実施	茨城県立日立第一高校の特別授業として、スーパーグラフ関数電卓「ClassPad」を使った実験的授業を実施。	カシオ計算機
	大学授業へのデザイナー派遣	武蔵野美術大学の情報デザインに関する授業の特別講師としてGUIデザイナー1名を派遣し、学生作品の講評を実施。	カシオ計算機
	大学での講演	山形大学にて従業員がプラスチック成形の先端技術について、講演を実施。	山形カシオ
	大学授業の一部としての学生向けトレーニングの実施	学生13名に対し、大学での授業の一貫として専攻に係る業務の実務研修を3カ月程度実施。こうした活動に対し、「Good Support and give learning chance to vocational student of southern province (南部の学生への職業訓練における優れた支援と機会の提供)」を受賞。	カシオタイ
	学生の研修を受け入れ	学生14名に対し、職場研修を実施。	高知カシオ
	インターンシップ提携	2名の学生を受け入れ約2週間のOJTを実施。	カシオ情報機器他
環境	カシオワールドオープンでの教育活動	1) 地元小学生を大会に招待し、学校の校外学習プログラムとして試合見学、スナックゴルフ体験、放送センター見学などを実施。 2) ツアープレイヤーが小学生にゴルフレッスンを実施。	カシオ計算機
	JAPAN DAY Kids' ISO 14000ブース運営	米国マンハッタンで開催されたJAPAN DAYイベントにおいてKids' ISO 14000プログラムのブースを自主出展。ボランティア活動としてブース企画、設置、運営のすべてを社内で推進し、イベント来場者にKids' ISO 14000の紹介並びに環境の大切さを訴求。	カシオアメリカ
	植樹活動に参加	中国深圳市の環境を美化するため、深圳市緑色基金による植樹活動に従業員35人が参加し、50本を植樹。	カシオ電子深圳
	ライトダウンキャンペーンに参加	環境省の「CO <sub>2</sub> 削減/ライトダウンキャンペーン」(6月21日、7月7日)に、カシオ国内グループ会社8社が参加。2日間で得られた削減効果はトータルで約1,495kWh (CO <sub>2</sub> 換算約565kg)。	カシオグループ
	エコキャップ運動の推進	カシオテクノ、カシオ情報機器、カシオビジネスサービス、セイコー電子が、エコキャップ推進協会(NPO)実施の「エコキャップ」運動に参加。	カシオグループ
	国分川一斉清掃(芝焼き)に参加	国分川一斉清掃(芝焼き)に従業員34名が参加し、地域活動に協力。	高知カシオ
その他	埼玉県冬の温暖化対策キャンペーンへの参加	従業員およびその家族198名が参加し、家庭での室温設定(20℃)、重ね着、電灯や電気製品の省エネに取り組む。	カシオ電子工業
	グリーンアップ・デイの実施	年2回、会社周辺の清掃活動を実施。各回従業員が60名程度参加。	甲府カシオ
	献血への協力	カシオ計算機で年2回、延べ615名。甲府カシオで年2回、延べ96名。高知カシオで年2回、延べ53名。カシオ日立モバイルで年1回、78名が協力他。	カシオグループ
	福祉作業所への商品解体・開梱作業の業務委託	廃棄となる商品、オプション、販促物などの解体・開梱・分別作業を福祉作業所に業務委託し、作業者の自立支援および地域貢献を図っている。	カシオビジネスサービス

寄付活動

分類	件名	寄付先	実施主体	
教育	国際大学への協賛	国際大学	カシオ計算機	
	日経エデュケーションチャレンジ2008協賛	日本経済新聞社	カシオ計算機	
	「カンボジア学生会唱普及活動プロジェクト」に協力	JHP・学校をつくる会(NPO)	カシオ情報機器	
	プロジェクトを寄贈	Costco Scholarship Fund	カシオアメリカ	
	Costco奨学金への寄付	Office Max ACTS	カシオアメリカ	
	Office Max ACTSを通じての小学生への教育支援	第2回全国中学生英語読解コンテスト協賛	上海外国語教育出版社	上海カシオ
環境	カシオ教育奨励金の設置	北京大学、北京外国語大学、天津外国語学院、上海外国語大学、華東政法大学、同済大学など	上海カシオ	
	現地の小学校で音楽教室をつくるために電子楽器を寄贈	中国四川雅安市	上海カシオ	
	国際芸術協力機構への支援	国際芸術協力機構(ArTec)(NGO)	カシオ計算機	
	日本経団連自然保護基金への寄付	Think the Earth プロジェクトへの協賛	Think the Earth プロジェクト(NPO)	カシオ計算機
	WWFジャパンへの支援	世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)(NGO)	カシオ計算機	
	産業廃棄物処理事業振興財団への寄付	産業廃棄物処理事業振興財団	カシオ計算機	
学術・研究	IHESジャパン・ファンドへの寄付	フランス高等科学研究所(IHES) ジャパン・ファンド	カシオ計算機	
文化・芸術	NHK交響楽団への協賛	NHK交響楽団	カシオ計算機	
	東京フィルハーモニー交響楽団への協賛	東京フィルハーモニー交響楽団	カシオ計算機	
	パリ日本文化会館への協賛	全国少年子供電子キーボードコンテストへの協賛	パリ日本文化会館	カシオ計算機
地域社会	宋慶齡基金会	宋慶齡基金会	上海カシオ	
	果樹大国ひがしね さくらんぼマラソン大会への協賛	果樹大国ひがしね さくらんぼマラソン大会実行委員会	山形カシオ	
	根がらみ前水田保全のためのチューリップ球根・大賀ハス里親協賛	世界少年野球大会への協賛	東京都羽村市	カシオ計算機
その他	世界少年野球大会への協賛	カシオ労働組合主催「社会福祉貢献カンパ」への協力	世界少年野球推進財団	カシオ計算機
	カシオ労働組合主催「社会福祉貢献カンパ」への協力	盲導犬育成事業の為にチャリティライブの開催	日本ユネスコ協会連盟、あしなが育英会	カシオ労働組合組合員有志
	アイメイト協会	エイズ患者・HIV感染者のためのホスピスへの支援	アイメイト協会	カシオグループ従業員有志
		Prabhat Namphu 寺院	カシオタイ従業員有志	